

がっこう かてい ちいき
★学校と家庭、地域をつなぐ・・・

れいわ ねん がつ にち
令和5年 10月 6日

田原小学校 HP に
つながります。



たわら こ No.9 (10月号) 学校だより 田原っ子

No.9 (10月号)

たわらしょうがっこうちよう うえいだいすけ
田原小学校長 上井大介

がっこうきょういくもくひょう
☆学校教育目標☆

「自主的につながり、表現し、主体的に取り組むことのできる子ども」

☆校内の合言葉☆ 「ありがとう」と「大丈夫」 ☆スローガン☆ 「認め合い、支え合い、助け合い」

☆5つのキーワード☆

- ◆あいさつ ◆共感と安心感 ◆感謝 ◆チャレンジ ◆家庭・地域とのつながり



あした しゅうねんきねんうんどうかい ♪明日はいよいよ「150周年記念運動会」です!♪

子どもたちが待ちに待った運動会が明日に迫りました。150周年の年の記念すべき運動会です。昔の子どもたちも運動会は張り切ってがんばっていたことでしょうね。また、今から35年ほど前の以前の校舎での田原小学校の運動会は、準備などはお家の方々や地域の皆さんが一緒にしてくださったり、競技も一緒に参加されていたとの話を聞いたことがあります。子どもの数が少なかったこともあり、小学校の運動会は村を上げての一大イベントだったのかもしれない。

さて、ここまで子どもたちは練習にしっかりと取り組んできました。「家族にかっこいい姿を見てほしい!」、「お家の人から褒めてもらいたい!」そんな気持ちいっぱい明日はがんばってくれることと思います。ご来賓や保護者、地域の皆様には、明日は演技、競技の勝ち負けやできばえだけでなく、ここまでの練習の成果をも含めて、子どもたちには賞賛の声掛けと大きな拍手をおく送っていただければありがたいです。

人数制限のない運動会とはいえ、観覧いただく皆様には会の運営にあたってご不便やご協力を願うことが多々あると思います。運動会の様子も今と昔とでは変わってきましたが、子どもたちが大勢の皆さんの前で、力を発揮し、大きな拍手をもらって笑顔になることは同じでしょう。明日の田原小学校の運動会が温かく、みんなが笑顔で感動的に終わられるよう、ご理解とご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

「フレーフレーあかぐみ フレフレあかぐみ ゴーゴーゴー」

ぼくらはかがやく
たいようのように
もえあがるきぼう
ちからいっぱいがんばろう
あかあかあか ゴーゴーゴー
あかあかあか ゴーゴーゴー
もえるよもえるあかぐみ



「フレーフレーしろぐみ フレフレしろぐみ ゴーゴーゴー」

ぼくらはしろいいなずまだ
つきすすむひかりのや
かみなりのおととどろかせ
げんきいっぱいがんばろう
ゴーゴーゴー しろしろしろ
ゴーゴーゴー しろしろしろ
ちきゅうをまわるいなずまだしろぐみ



応援の時の歌です。子どもたちはいつも好きなので、学級からも聞かせてあげたいです。

じどうかいもくひょう たの うんどうかい
児童会目標 「おたけべ！楽しい運動会にしよう。」



4年生



6年生



3年生



2年生



1年生



5年生

いけんおつこおややくめ きゃくかんときてんやしなと
◆意見押し付ける子、親の役目は ～客観的視点養う問いかけを～◆

右のような記事を読みました。「相手の立場になって考える」って小学生、特に低学年ではなかなか難しいかもしれません。しかし、周囲の大人の関わり方によっては、このような「客観的視点を養う問いかけ」で習慣付けにつながるというものです。

また、「ふわっと言葉」や「ちくっと言葉」など2つの言葉を意識することで相手に対してどんな言葉をかけると気持ちがよいかを考えることも大切です。そして、自分の意見ばかり主張するのではなく、相手の意見をしっかりと聞くことで、良好なコミュニケーションを図ることができます。学校内で低学年の会話を聞いていると「○○して遊ぼう。△△ちゃんもそれでいい？ほかにしたいことある？」なんてやり取りを聞くことがあります。そんな相手を思いやる会話が増えるといいですね。(東京学芸大学名誉教授、相川充氏の記事より一部抜粋)

「相手の立場に立って考える」習慣を付けさせるには

客観的視点を養う問いかけを

例)
 「友達の目からあなたを見たらどう思う？」
 「どうして○○君(ちゃん)とけんかになったのかな？」

★注意 子どもがどんな答えをしても、「あなたはそう思うんだね」とそのまま受けとめる

2つの言葉を意識させる

「ふわっと言葉」 相手を元気づける言葉	「ちくっと言葉」 相手が悲しい気持ちになる言葉
------------------------	----------------------------

2パターンを臨機応変に実践することを教える

・まず友達の意見を聞いてから、自分の意見を言う

例) 友達「鬼ごっこしようよ」

わが子
「鬼ごっこをしたいんだね。でも僕(私)はかくれんぼがほしいな」

× ○○じゃなきゃ嫌だ!

・先に自分の意見を言ってから、友達に意見を聞く

例) わが子
「僕(私)は公園で遊びたいけど、○○君(ちゃん)はどうしたい？」

○